

(中国乙21)
猩紅熱 発生推移
＝2025年11月度＝

発表:2025年12月5日国家NDPCA

作成:2025年12月7日
日本中医療衛生情報研究所

乙19：猩紅熱

- ・日本では、1998年の法改正で、法定伝染病ではなくなった。
- ・現在、日本の感染症法ではA群溶血性レンサ球菌咽頭炎（溶連菌感染症）として診断・治療を行うことが大半だが、
- ・中国・香港・マカオ及び韓国では、法定報告感染症として指定されている。
- ・3月～6月、11月～翌年1月の二度のピーク期がある点は、手足口病と似ている。
- ・2011年を除けば、毎年増加傾向にあったが、
- ・2020年は、COVID-19の影響で激減したと言えよう。
- ・死に至ることは稀
- ・主に子供に多く見られるのはこれも手足口病に似ている

乙19：猩紅熱

15,000

中国の猩紅熱発症者数(月別)

12,000

9,000

6,000

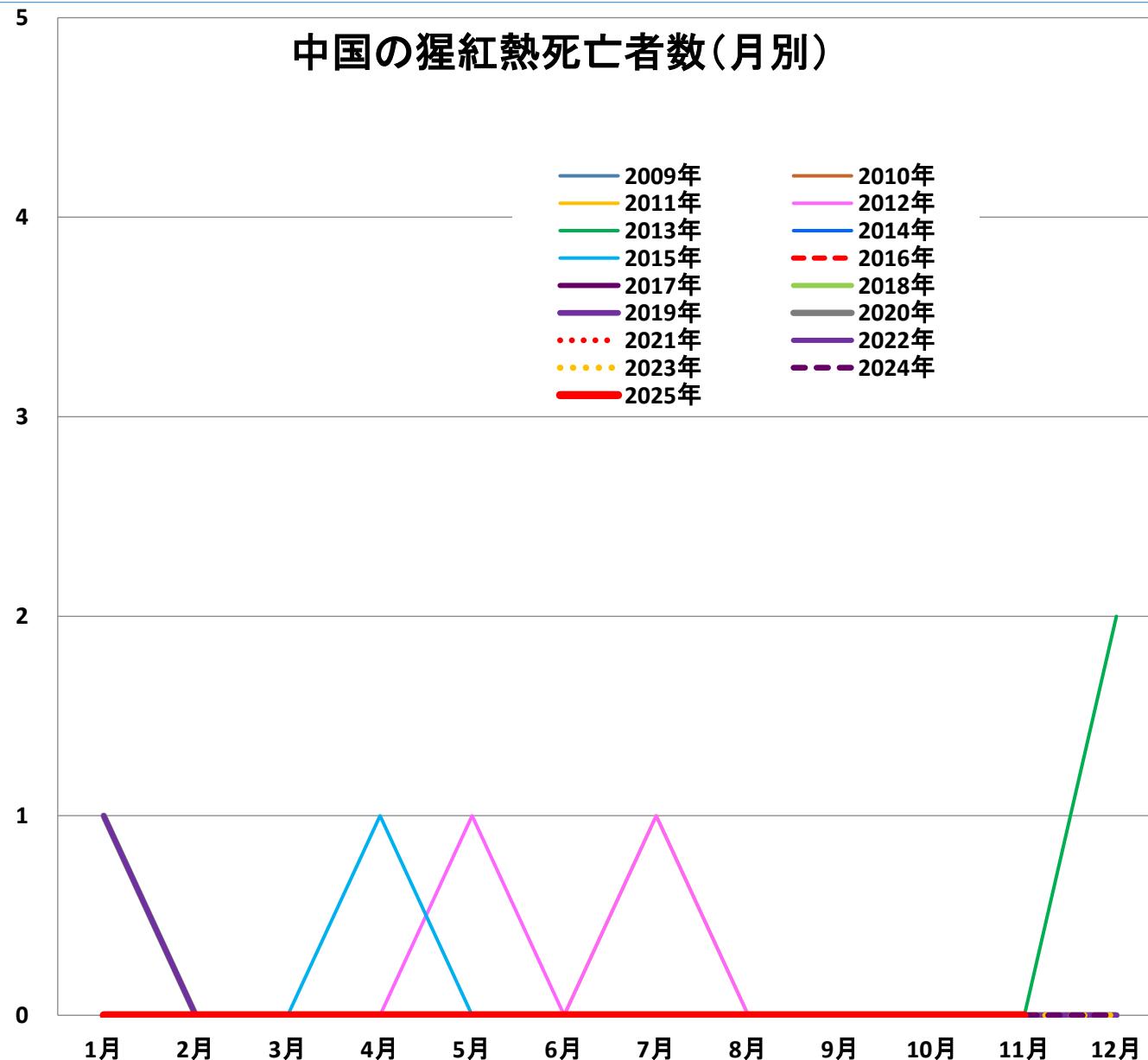
3,000

0

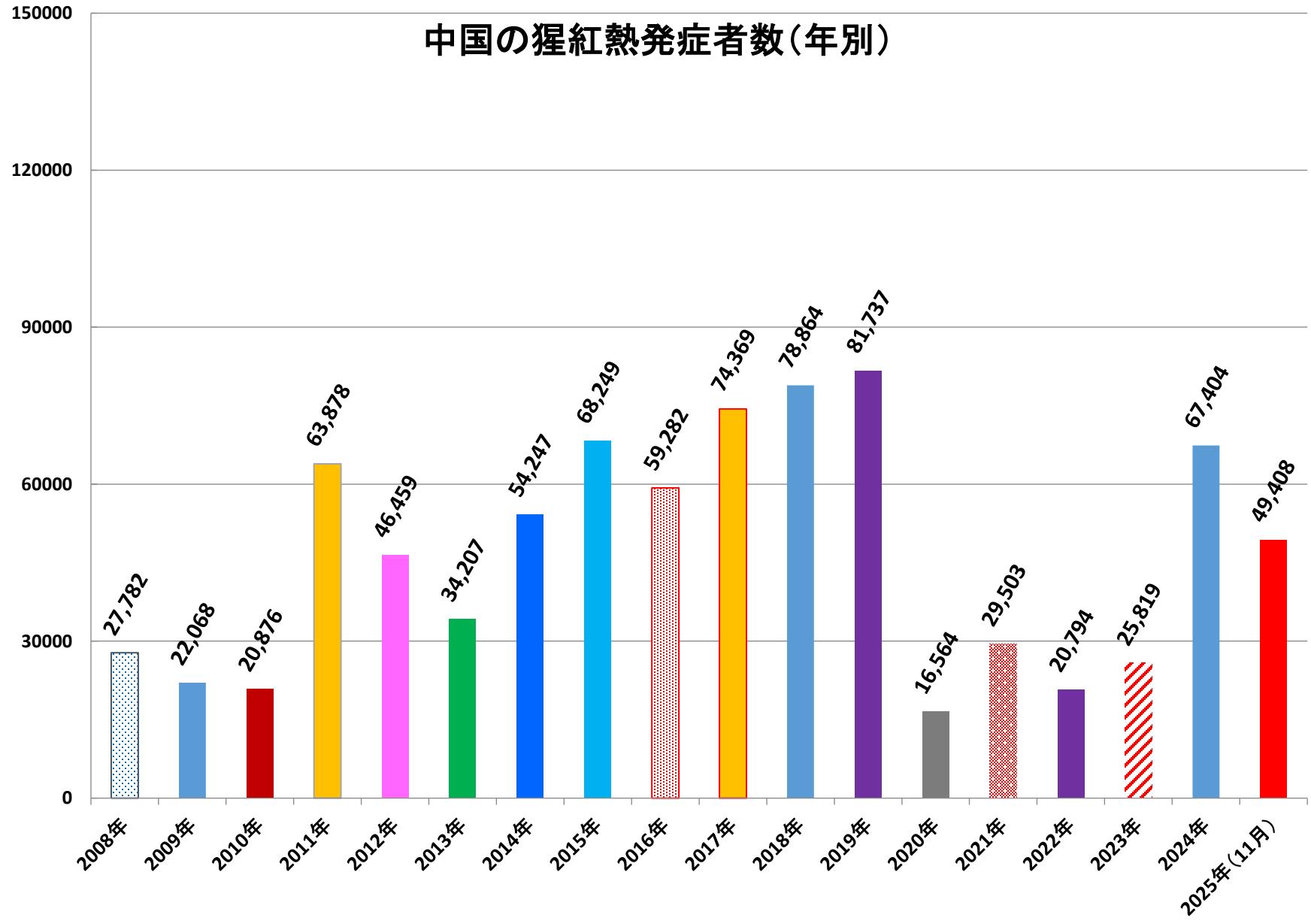
1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月

- 2009年
- 2010年
- 2011年
- 2012年
- 2013年
- 2014年
- 2015年
- - - 2016年
- 2017年
- 2018年
- 2019年
- 2020年
- 2021年
- 2022年
- 2023年
- - - 2024年
- 2025年

乙19：猩紅熱



乙19：猩紅熱



乙19：猩紅熱

